人區域に集中

海日日記者は負傷

ルを中心とする一帯の制空權を確保 利約つて我が海軍機の精鋭が支那空軍

軍根據地を逐次即き潰して殆んど。滅的打撃を與へ、破災を決行せんとの異に極度の不安に使えてゐたが、我が地上部隊の果政なる

に安堵の色

近衛首相参內

直に京日コドモ

名尼殿を未然!!

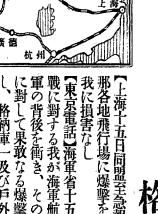
飲みすぎ 食ひすぎ

のあとに

気に切びいる。 原でしています。 原ではないでは、 原のでは、 のでは、 のでは、

# の各飛行場

# 格納庫五棟も粉碎



那各地飛行場に爆撃を敢行し格納庫五、飛行機二十數台を撃破した、【上海十五日同盟至急報】十四日午後我が空中部隊は杭州、 廣德等支

る損害を敵に與へたるが如きもその詳細は目下取調中である 戦に對する我が海軍航空部隊は十四日颱風區域を突破して長騙支那【東京電話】海軍省十五日午前四時發表——暴虐なる支那軍飛行機の挑 に對して果敢なる爆撃を決行した、 格納庫一及び戸外飛行機敷機を撃破し、廣德に於ては更に大なして果敢なる爆撃を決行した、杭州においては敵機四機を撃墜 報】我が空軍は十五日同盟至急

敵機死物狂い

各方面の絶讃を博

日本軍艦から離れよと

南京十五日同盟] 國民政府外交

自衛艦の下に一切の行動の自一し上海共同研究に随する軍大申入一十四日附長文の重大整明を襲し欧府は十四日、日支兩國政府に對

イロツ

明十六日午後七時半・府民、師大講堂(八学講覧学) 特派員藤井安正 柤界では燈火管制 支戰鬪報告大講演 映畵――北支事變六、七、八、九報(上海事變) 戦死傷者の崎部隊の

と見られてき

>検送されたイギリス陸和三ケ「上事十五日問題」十三日香港

停止を勸告

石夫入宋美嗣に對し軍司

十二度三(十五日) うだ 風、量一時晴れ 観明もありさう 一も同じ明れた

酸せる跳外を飛行しました時わが軍が支那軍運行機を敷を

十五日朝の天気槪況

のが、 つだ つだ つた でた 所務 所が能明が能 所がに よっぱい もいこ も可にも同じも同じも同じるがは あのけるのはるのはるのはるのはるがほうが 第二条形式 5年来 製創士博村柏 醫侍前

省內宮

下腹腹痛が持續し滋養物の身

時候傷・消化不良等水傷・ 袋冷・ 冷膨 放過・ 食過 一 全傷 より起る…… £

腸 カ タ ル・胃カタルしぶりばら・はらなりはら・はらなり

大三一五三二(定 十十十 定 孤 即即回発發致

大学 (本) 本名 (本) 和名 (本)

他统一丁目 提替東京八六四番 津村敬天堂

本舗

・ 下原度権が持貫しをを 

この名樂を こんな時にも

緩れたり

振り

(16 H



### に息疾と弱衰の胃腸

然振起と體力増進の 基本がとして愛用家 の信頼極めて大てす

蘇聯二番機

市人二等兵衛 帝位人軍門臨 一夫人一等兵

ベルブは下痢腹痛に ば、危險を輕快に防で和肢痛の起らぬ内で、ルブを確勝用あれ

出した愛蘭を懸がある……十四日一陣を取つて一千風を埋んと投げ

餘り裕福でもない

一老農が

生の汗の結晶千圓を献金

加へて下さい | 本語|| Turk | Turk |

(三)で平별器は除罪取調べ中

手藝品を賣

**| 国里日下住所不定の野働省許相談** 

近竜狂いをし、殆ど家に寄りつか【大郎】府外が開腹を突ったは最

、本妻に斬らる

て下さいませ、房子より一位方がありませんので千人登金とを集めました。これは少金とを集めました。これは少されたもない所にた

客を蹴殺す

ねの『嫉妬に黙えた歩は小渡八寸

□持ち十一月午回: 「時頭爰」を載りれて宋は十二日午至死亡し

ら電響となり、離話した金に腹部のを『待てぬ』といはれたことか 後『後で開ふ』と立去らうとした 置差金昌男 き)方で還酒を呷つた

衝突事件

一考へが集中しない 散漫だ 我の年ら気があせる

な時に

多数サラーナトール錠

貴下の

頭痛は

ありませんか?便秘のためでは

下劑 は

無味無臭で

アルから

元 逸 益

兩責任者に

### 組織運動を開始したが可動形質の 親の飲納となって實現を目ざして「午町」ル時ごろの民民風の「老人が 四日「我れ等の平南號を一時も 献的して下さい」と新聞の第一 「日國防資材飲納別成館を 道殿地方源に 馬辺地方郡長を 訪 と赤心を面に現し手面を将出した

水原] 日刑面歷並與美二 は去 稀代の牛泥名人も 七頭目で遂に失敗

女一人は遂に溺死 四名の乘客中

己の開女は建に鋭れな疑期を鑑け 漁船顕覆 【釜山] 府内の

墨湖港工事區域内の各工場

開きあり

半數は撤去に應ぜす

関連の契漁職に男十七名とは五名 この間で、動體を大酸したので船 | 調べ中である 、江瀬島の後間に乗り上げ間流の一 カ島に向ふ途中十月午前二時ご

教助され間日夕創海州郡電蛇路・一時半ごろ昌が郡。川直揚島突乾道の姥龍暦に男十七名とな五名(魚僧蔵質をあて込んで十四日午前 魔にたが遺離者中本選挙形態。が大刀魚を漁艄に確認し、第山南港(つたので楽者らは田路の移物費を、を置けて来たがこの壁に西路波論)

**出に公部歌名の止むなきにたら至 らの出張の歌はその度に筆簡歌術 共に移動と歌歌とない。 に願し張遠歌の異歌歌主事于四王、進や本居に陳献する一方懸歌を歌 と指表して移動と深るとす。 (思語)氏景、生産炭素出産工事 総方と移動映画地次完方について、及沙勢江陵帯寺が来来、奏者、同** 

積る赤心

2.五時半ごろ船客二十四名を乗せ | 申玉淳二人と本議海州郡東帝國雲元有小別總數機能は去る九日午 八七声県城こと高昌州方抱へ組役 州郡和姚嘉を出帆、仁川神シュ | 陽里住所同上に原根娼妓金苔年(三 長彌郡海安面夢鱼派李某一山郡安面宿崇洞住所海州呂第本町

の點があるので同所駐在所能が取 キー質を八十國で奥却したが不振。 の程自供したが同人は幼年時代か 特に須方から扱んだことをこ 七歳の時旗州で番牛一頭を盗 たところ右に牛は同面二里五

間流から山所で右の自転曲を持つ 下置では直ちに手配の結果現場から いられたので最近交番に展出たが交 ...

町に乗って来た自転車(平地二六 同四部山川大畑湖家共店金半三は

こけ探コッエさん(デ)を抱いたま

ti ti

なり他は辛うじて繁備船に敷助さ 水 (\*)に浪に渡はれて行方不明と 一成外で順催し漁夫六名のうち業子 二日午後二四四十分ごろ平南道大 自轉車泥棒 [示题]

にさしかいつた際制度のため原連 門氏令響意州裔等女祭校一年生「会行被撃がに勝る手並を服し一部」の三面習取調べ中の艶むな乙女は漁州上前四球右(金金鷺を尋問書野用の鉱物消をへ「音全さ」の頭部の

老婆愛孫を抱 飄然と謎の家出

放送局のマイクまで動員した 大童の捜査を会し

てゐると何端にか自鱖熊を養み去」七線除護養推斷の推察らめるんで。綴と連絡する一方年挪婉感命のて「着用し下賦はさつまくらゆじ問九朝)を置いて胎近で脳遊し」【平期】十二日午前九時ごろ步し「査を行つてゐる、憑以本縁でも鮮」聚出途時の總子は淡黄色 |朦朧兵分除に申告して心留りの微|| たが進かでない、なほうのさんの|| 関心である。 で同家では大闘ぎとなり直ちに生 ず、家田の戦闘も憲兵隊で副室し | 闘つである。で同家では大闘ぎとなり直ちに生 ず、家田の戦闘も憲兵隊で副室し | 闘つである。 イクまでを動員して即限になって、てさんは赤原像の和服を着用 化

かし移動物の変定は大変後一個に削して移動することになった。しれず結局は己むを得ず希望候伴を 以て富局の前者を求めたが容れられい大衆者では相対強硬な態度を も全種道内の儲林圏立て二十 して時局認識、限り観、引酸に発 折倒去

人會の活躍河東更生婦 館事費を開いて國防戦

した勢ひであるが同業全北日報 動は今や二十二五国を突破 製道一致の爆襲機会北號 軍歌を募集

八十銭大豐商店外八十三 在公曹訓導命惠山銀公曹動務 (書)選吳投献金) 干珠縣小訓 晋田 際へるため軍歌「征け全北戦」

で 大・ ( 本山 ) が大・ ( 本山 ) であった。 ( 本

民は熊行先の徳二縣で國防機魔北

受到] 都內甘南台澳井口浦太郎

一干圓献金

旅行先から

| 献的活造 | 開き二十囲の製金庁

「日瓊州郡守須電泉で申込み

大の強敵めがけて斬りつけたが手「暗裳に施へられた」の金女の家にしのび込み熟睡中の一部が狂ひ微傲を買ほせたのみで

んで慰問文(取文の鑑)

【全州】完州郡國東西九尾里の栄一た、全州者では後藤公殿の手」 たうとうこの始末 | 六日死難を解削に附し取捐へ中 バス列車

三日間リ

**小殿さ十三日午前九時半から開気。 時内バスと列車の衝突単性公額は** 「元山」去る五月廿三日郡はした 各罰金百圓

人機低の海年が鍼然栗部法部に現 は触点町金子巻でして七八年町で【緩餐】十三日午朝五時頃二十七 は取止める記込みであるが加密番 ら神經病で悩んであたが同朝八時 あり、機堪整派となった 名に對し各部金百圓の物決言機 各門事から被告録的婚司者以且

歌楽ノ鉄を

変属の歌だ!

に火花散らす

遺銭を貼へた現金三圓八十五銭~ 同文を確へて差田したので同名で

**単若干に乙女の補情を綴つた慰 れ『只今この食刀で義姉(長兄の)** 

駆動し早班その手續を取つたが

|騒ぎとなり電引法主任は戦形事と||刀を掘って炊事選の長兄の悪党又

妻)を刺殺した」と自首したので大。四十分節長兄宅を訪い評作的に食

即服の少女が訪れ干人針三枚と小

施州繁祭署に十四日朝一名の

飯州」いちらしい乙女の霊園鉄

乙女の純情

發作的の精神異狀

加害者は即時自首

(題に食合単単位変)(20mm) / 名中前十八個単位数十名は十二名中前十 軍事後援聯盟 獨內各官公置女及各種 **稲成式舉行** 

國境の旗風

病

內

服

新

NI A HARA

安白盛恩才本

**表者その他有志多數別席の下** 河東」監南市事多援。盟又部 河東北陸曹継宗で郡内各閣会

弾雨を衝いて まない

神風で結成式を盛人に発行し 光相 一統後半島の愛風火 儒林團も起つ ,日午前六時河南 ā

工新

征け全北號が

7. 五三八九 八、五三八九 八、五三八九

**愛生堂/一流本場人夢ァ** 朝鮮人益ノ御用ナラ

出。迅速有利

愈

ķ

高

L 價 あるところ

川 石 場造**醸油**醬杉高

**夕** カ の

心南大門通一丁目十九番地

鮮信託株式會社

· 壤、大邱、 成 興 、 大 邱、 成 興

Martin 関本町路人ルノフキス及ジウラリ百国 面塔下洞側島學校職員一詞▲五十百銀 A町橋本龜吉▲二圓五十五銭總算

子供が良くなる

講談社の絵本







店開業御挨拶

物店山下川株式山下 芳 次 郎

保何卒創登援御要願の程切に卒傾別候。敬以に就ては敵所徹尾顕客各位の良き忠误として新聞記任有士の留大なる御支援の下に左記地所に株式

外務社員招聘 第一生命保險相互會社 原城府長谷川町二二

時就金叉

は左六九七三番 ほおどル 4 が所 に取り向意明六ノー八 に取り向意明六ノー八 に取りのでした。 は左記へ御服費ありたし は左記へ御服費ありたし (1) 人用市工者心脏跌停 京城雙升町二丁自 京城雙升町二丁自 池 上 病















ないねえ」

んできる、先代太郎天衛が、 終落は空機の媒から、避戦で医 「肥、腸つてあるだ」

(新味)配は好 早渡野ひ求め戦期しました意、紅斑・ ちゃあり、東鳴・ 電乗りがして低 しかった映出も渡り、 きたなら いか も安慰出来すを認証にかゝり、 邮 快所に応った藤は非常に成しく取る 下きが膨よりがく これ には り、 心臓も常態が しゃっと の上記式では東鳴さへもダントした の上記式では東鳴さへもダントした。 一般も常態より描く……フルチ錠を つてめます。

果あるとぶる事を倒じて貼りました。……飲意味が訪れて来た時には、太変

ばし、無難作に太郎兵衛を強さけ

と、手を抑へる。麒麟は片殿の

金魚

無代進星

古醫學から再檢討(四六判美册子)

排降血液循環とふる血療法

◆こんな症状の方は是非一該あれりの情報の方は是非一該あれて、 寮門・高中に衛力の関係の対して、寮門・高中に衛力の展別の人で類型、耳鳴・同様・手足の東北る人(角楽・神経館)

え、おらの前にも置かくるだる お ら、音へ掲からるはわれだけでね 「これ。われがそんな物情はした。「兄キ、知しん振りしてゐるだぞ」

が勇物様出してなるかより、「おれ、嫉さまでねえか、嫉さ 邪魔すってわる。足を知らか。足を

+五=

込所

古醫學研究

**写もしかと云つて、何だよ** 『おすか様と七酸の敵取りに行く

目何いったえ、そんな事したいお

のが手に続がかいるだと

「成っねえ、鬼物、樹田していか「魅つてゐるだといふに」

に大がよくなりましたが、まだ。 の歌、私は撃ねて新順武士にて貴 の歌、私は撃ねて新順武士にて貴 の歌、私は撃ねて新順武士にて貴 の歌、私は撃ねて新順武士にて貴

古い病毒が快方に

『こわち見るでわえ』 『兄ぞ、何からみてゐるだと』

B

だ、泣きながら和鏡やつたのが終りってあるのでねえか! だけどよの収ようたにもよりけりってあるのでねえか! が】 - 「他の眼だとて うた つたでねぇ | 目にかけて經療は、密館、概是の 『行どよ、あんなに泣きながら和 『鬱、鬱、われ、な、なにしる

**園わえ、と云つて、どこかへ寄** 

のかの治言けさつきまで、ここ おらと気軽よく酒飲んであた 造三兄キが国ねえた

た。がた/ 、 鏡の板もあはず、 大郎兵衛は、関かないでも鴨つ

一致だ。 街三はおらより最性の "あいつは子供の時から、ああい

なえに極まってゐる」

「えり」

際か起つてゐる。

『おらが行つても仕方がねえ』

がして、流れた砂蔵が戸を開け、

どン、と、人口に、他の関れる語

なあ、お助さんも行つてみねえ

遺傳とふる血 果は腹の して借りものか!! 間に生れた人猿人間と類人猿との

痛々しく。青い顔になつた。 で、道三郎の家へ行つて みよう(物は)変つてるた齢が一時に消え。なっと、心配がますます品じるの

鐵板が出て行つた後で、太郎兵

清水の鐵 (元)

行つた

後に残った太郎兵衛は、一人に

長谷川 岩田專太폖

## をせないのであります。 軽六七代たゝなければ健別間を収。 千に交難戦な人を慰し、かくする が輝には健康な人と結婚し、其のいものはありません。先づ治さん は、歌すなどは一般が歌い那些をかいて、の う。 一般の野もない子供が、現れないの う。 一般の野もない子供が、現れない。 からにして 一般のできない子供が、現れない。

中風や脳溢血を防ぐ ふる血新療法とはノ

たれですから解釈を1般に吹き で低肥見が此の味からを散彩はれたれですから解釈を1般に吹き で低肥見が此の味がらを散彩はまり作者 一世の聴覚が思く頭の歌きも兜術せないのであります。 のたり、ロの問題がたよれてヒキ 展験や脊髄性となり、腎師や不過 不の壁の奥なく喰ひ込むからであれるな器で、是が起来中に混べしい。 とが起来中に混べし ります。此の歌の屋所によつて を埋め、稀代の天才が影重に、戦す、言葉も出ない中国となって世 す、言葉も出ない中国となつて 天才變じて馬鹿に

避繁を受け入れ、より耐労を避け、附から、成人しては、無、煙草のす。此の恐る可き概器の聞は底の 病原となるので、是を古方觀察で 此の美人が弱かけとなったりし

頭重、耳鳴、吹出に苦しんだ

ロ心掛けが散も形質で、既に能ら一るのであります。

遺傳毒の方へ

お奬めして大變喜ばれました

**西**場小 玉 大

盛堂

品を完全に緊退 ・ ・ リや/ 品を使ふ必要あ で外國

打闘のみちは 愛用あるのみ 只…園産品の

藥傷外庭



## 夏の整髪は斷然これノ 純植物性

みを去り、③化膿を防ぎ癒り

を早めます。

又顔そり後、剃りまけ等に用ひ気分 を終かにし、肌を整へます。 もサキシロンは重賞です。 三重 のきゝ

催進剤さして醫家の賞用する 痛止痒薬さを配したもので、 サキシロンは最新の薬化學に ①傷口を消器し、②痛み、症 基いて、傷の上皮形成・肉芽 テキシールに殺菌消毒薬と鎮

大海軍軍の登場にある。 一大大塚に、十整的一 大塚に、十整的一 大塚に、十整的一 大塚に、十整的一 大塚に、十整的一 大塚に、一大塚に、一大塚に、一大塚に、一大塚に、一大塚に、一大塚に、一大 日やけ、

日やけ止め、化粧下、美肌料として

蚊、蚤、南京虫、その他毒虫にさ れた時、サキシロンをすり込みます と強しあとを消毒し、かゆみ痛みを 虫に整れたとき 怪我をしたとき

すり傷、きり傷、打撲傷にサキシロ

を止め、傷面には肉芽や表皮を新生り傷口を消毒し、化機を防ぎ、痛みンをつけますと、特有の数菌がによいを

治ほりをはやめます。又難すれ

く基に學化藥の新最

家の田武

**A** 

家庭

A37-6(0)

a 中け、化粧下、類そり後、刺まけ 神原虫・毒虫にきゝれたごき、日 中けざ、水虫、選添、皮膚病、紋

翻束代理店 東京 熊 小西新兵衛商店

十四日に 9=四日間 大 毎 **國際ニユース** 11.30 2.40 6.50 RKO 大學の人氣者 11.40 2.50 7.00 敢 訂 彌太郎笠大會 1.05 4.15 8,20 (片岡干惠城主演) 各席全部大人學生三十錢小學生二十錢

朝 惡 衣 宝 金 黄體





キケカワ 均等





八月十四日 → 八日 — 五日間朝日世界ニュース朝日北支事變ニュース落(そうほう)成 経経・山産町 C 建 均 階 13



館央 中國際運



+

## 支軍空が

甚大なる損害を興へた(二)上海全線の、戦況は昨日と大差なく我が陸戦隊は味方艦艇と協力

して依然として敷十倍に餘る衆敵に抗し斷乎として守備線を確保し土氣益々振ひ機械化裝

り當て正午頃より午後三時頃に亘り極めて低高度において果敢な有效なる爆撃を行ひ敵に を続ふて視界凡そ千米の惡天候のうち或は僚機相失ひつつもそれら、敵の航空根據地を探 **学部隊は本十五日〇〇機を以て大擧遠征、南京及び鄱陽湖の西方南昌を急襲し折柄の豪雨** 

海軍省公表——(一)昨十四日暴風雨を衝いて杭州、廣徳の爆撃を决行した我が海軍航

び上海の戦況につき左の如く發表した

【東京電話】海軍では十五日午後九時我が海軍航空隊の空爆及

海軍省 公表

【上海十五日同盟至急報】海軍武官室午後六時半發表(一)本日午則十時我が海上航空部隊は

備の威力を遺憾なく發揮してゐる

### 蔵舌不局(2)一二八一番 振術原味 三 〇 〇 番 人 小川三之介 魚 是 声 治 不居留民引揚げ

事態によつては

昭和十二年八月十六日 (明治卅七年天月十日三) 羅黎便物語)

オセイションを描きおこしてある。『サかましく『濃せられるにまり』 容易でないと思いれてある。ガセイションを描きおこしてある。『サかましく『濃むは名典で北文事歌』を描けたい方針でその。 対するり カースを 十四日支那軍形機の上海爆撃によ「戦闘するものでもあり日本の立場「ワシントン十五日開盟特派員数」この報道は支那軍の誘戦的運送を

小川三之介

猛烈なる嵐を衝いて

南京 南昌を爆撃す

敵の空軍根據地を徹底的に擊破

蔣介石慌てふためく

この報道は支那軍の機能能性を一問題は是正案外限りを確めて居る 逆用を避けたい方動でその實現は

がアメリカ政府は出来らだけその 引揚館令が避せられる機なことに

# 支那軍の集中砲撃で 邦人街の被害は相當大

た實施模議無に在上海列陸領事 合議にと有機線の補配するとこ るにして支配側の事無は明白で ある、上海を交際地容化せざる ことに関するイギリス側その他 の要認に対するイギリス側その他 の要認に対したして快速何の暴陸行気法 販的行為が新尾的に停止せざる 駆り残か方として快速何ともな し難く、かくる英地の情勢は反映 ででるに受いかの基性に制

野獣)カーチズウオーター台ない。 昨日午袋工時選我が方の壁壁一、昨日午袋工時選我が方の壁壁一、昨日午袋工時選我が方の壁壁

【上海十五日同盟王念典】

武官室發表

下していづれも滅茶々々に破壞され邦人街の被害は相當大なる模樣である ガーに命中、また北四川路方面では北四川路、狄思威路の角、邦人經營購買組合なごに落 方面は海壑路のヴエルス映畵 舘の外昆山 路の ベビー・ガーデン、邦人經營カフエー [上海十五日同盟至急報]午前十一時半頃より始まつた敵の砲撃によつて日本人居住 ・タイの虹口

口日本人密集地區に落下、再び敵の虹口砲撃は猛烈を極めてゐる、なほ我が濟上廣〇機は【上海十五日同盟至急報』正午前後より北停車場附近砲兵陣地から射ち出す敵の榴雪弾は虹 虹口及び閘北の上空を飛翔中である

【集京電面】 十五月午期十一時半

たり、歌の動原形して言言、たり、歌の動原形しては歌の来襲を受け、八字稿附近は歌の来襲を受け

本日平前五時十五分アイシスり、敵の動揺甚しき模様

支那人感謝わが軍紀に

上海十五日同盟至急報子空境八字橋の戦闘は極めて猛烈で敵は死體上數個を遺棄後 敵の死者數百に上る

# 敵の砲撃は殆ご言弾

海事競勃發以來十十日までの敵の死體は數百に達する見込み

退した

**敬頼行檄は直もに厥の献兵師地大提級に至り郷軽を収みこれを沈默を確外、交路などの虹月臨賊に敦健落下したが世空なし、〇〇の艦下師路、交路などの虹月臨賊に敦健落下したが世空なし、〇〇の艦下部が大場破した、大選城より麾子る鷲弾(横石崖弾)は水型破路、** はれつゝあるが目標の本部には一 はれつゝあるが目標の本部には一躍も欲らず附近のナモス・アバーには大場類方面より網接頭、野鼬の麒麟は醗醋除本部を目標けて行

東ふるに至 小のならとので何様はずな漢で加へ自屈民ので何様はずな漢で加へ自屈民の

日存八盛(商都北方二〇キロ)日午前八時五塁(産化南方四〇日午前八時五塁(産化南方四〇日子前八時五塁(産化南方四〇十五)

不能側に存す

英艦からの申出を

事情を具し

拒む

こでこれを向北上得る有効な地 にでこれを向北上得る有効な地 にでこれを向北上得る有効な地 にでこれを向北上得る有効な地 にの研文所体の発想せざるそれは、現場地にあることを解唆とする の何く用下の情勢については地

**わが艦は現錨地にある要あり** 

は支那軍は租界に對して行動するの已むなき點を問はず高射砲の射撃地點を發見する場合

に至るべきこどあるべき旨通告した

國際關係について

イキリス代理大便に命じ銭が戦。詩院へられたが、外緒省には長だ「としイギリス側の出方を設けして文形室軍の上海爆戦に職連し征。り除外すべしとの申入れをなした」かいる申入れは経営院選びである。 **東京市語)イギリス 政府は十四 府に對し重ねて上海を交職地船よ」かくる事實なくむ** 

香月司令官(左)へ恩賜の繃帶を傳達する木下中佐(右)電路

の損害を失くた、敵は、血血を辿してBUBを軽し各地の態技を求めた、なは確報によ

☆議中と侮へられる、なほ我が飛行機は全部歸還

支那軍、意氣沮喪



**發砲せず(一)虹口方面に敷發の砲彈落下せしもこれは大場鎭方面より飛來せるものにし** 浴びせて撃退した、日本人墓地近くにあつた敵部隊も潰走、本日は意氣沮喪して一發をも け我が部隊の前方十米まで進出、攻撃し來たつたが我が部隊は從容としてこれに小 【上海十五日同盟王急報】海軍武官室發表==-(一)八字橋方面の部隊は昨夜敵の猛襲管 撃を受

長

撃を行ふと共に租界上空を飛翔してゐる

撣三個や投下同艦附近の水上に落下した、残りの中一艘(コロセーア)の軽爆機はわが陸戦ず更に支那飛行機は何を間違つたか同四十分頃アメリカ東洋艦隊旗艦オーガスター號に爆は黄油江の我軍艦に對して空襲を企圖し○○艦○○○に對し處彈一個を投下したが命中せ

啄本部を爆撃せんどしたが陸戰隊の機關銃彈を受けて墜落した、我方に損害なし

わが射撃で逃亡 「台に変の〇を感覚すべく飛来したが表が〇〇事像及び〇〇覧よりの震撼で高 ・一番十五月同盟1十五月午後三時四十分と三時四十分の二回に退り艦の追復総議

【上海十五日同盟】支那軍用機九台は十五日午後三時半頃再び上海上空に飛來しその中七台

【上海十五日同盟至急報】敵爆墜機二機は執拗にも十五日午後三時二十分旗艦○○に對し爆

支那爆撃機また飛來

わが外務省の見解

至った以上わが方

が我方の観念目軍に拘らず支那一、支耶祭軍の上海における学場

成代参談として十四日午後七時我 行の申入れをなし來たったので銭 A・デニソン大佐は上海振造監察 の事情を希慮して善慮された れるので和界安全のためこの間とることが重要な原因と認められることが重要な原因と認めら 害と不安を與へた、右は日本軍支那軍の爆撃は利界に多大の損 キリス軍艦ダンカン蟹艦長長・

長谷川長官

一種管理権の「に関じ得み当を回答した」

と事情を説言外国点疑問一申人と

一、上海内的にに座泊中の各艦より に待機せしめたり、その他優新 に待機せしめたり、その他優新 に存機せしめたり、その他優新 にその背後におった機能しる要離 車にその情報を提出とかる整備 車にその情報を選出とり、本の機能は 等終をは出といるもり、我相 性機能をは出しいるもり、我相 性地保証に出しいるもり。 第一次であった。 で、一次では、事件が生息事故 で、一次で、一次で、 のか変と超えず、各点極めて のか変と超えず、各点極めて のか変と超えず、各点極めて のか変と超えず、各点極めて のか変と超えず、各点極めて のか変とをした。 のか変になる。 のか変とをした。 のか変とをした。 のか変とした。 のかで、 のがで、 のがで、

兩提督訪問 わが方の立場を諒解

リカ優東経験旅艦オーガスター號 して 我方の立場を際、、ミッチ 【上海十五月同盟】長谷川第三艦 パーランド舞にミッチエル提賞を にヤーネル提督を訪問、齊議を釜|エル提督も完全にこれを事解書談 艦隊旗艦カン二三十分にして避去した 下側干時アメー訪問、同路長の昨日の申入れに對

油管町 ンク人港山の光関極東 地管町 ンク人港山の光関極東 地管町 ンク人港山の光関極東 が対象工場の損害は大したこと たく前原景価の砂糖除にも一名 の死限なし

小な等次〇〇族総は東に昨夕に 小な等が八〇〇族総は東に地を横撃し こ故を沈繁生しめたり 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名 一、昨日故の祭型に制し爆弾の名

一、大型観閲立の数より我が開歌 一、大型観閲立の数より我が開歌 家本部に猛烈なの際をなしたが、 家により取らて記載せしめらる 家により取らて記載せしめらる なにに数十名、その後11別立

には大した出役を認めず

兩部隊

山岳は帯へ

の質を擧げ治安を紊るが如きことなきを期すべし **。た、全島官民は車の體制に即應し國民防衛防空の完璧を全島官民に告ぐ」との聲明を發した=軍は大命を奉じ戰時** 台灣軍も戰時體制 **増削し沈着その業に「念し報國體制の下に既に樞要の部署に體制に移轉するに當り左の如** 

臨時議會は九月中旬

しむるため臨時議會は可及的速に召答 ため臨時議會は可及的速に召集すべきだこの意見が閣僚間に有力定したが重大時局に際して適切な對策を樹立するこ共に國民に対係の全面的重大化に直面し內外諸般に亘る對應策確立のため臨時 會期は臨時議會の性質上一週間となるものと見られる

# 各國大使から嚴重抗議す

支那空軍の暴狀に對

【上海十五日同盟】昨夜來の我が軍の砲撃により江灣支那軍の根據地たる市政府は完全に破

れた、同方面の敵陣地は強滅的打撃を受けてゐる模樣

支那、各國に對し通告

市政府(鰺ෞ)完全に破壊

海十五日同盟

「兪鴻鈞上海市長は十五日各

相配の射観に進む至しく暗霊の中を南方に逃走した

那軍の空爆に對しては各國ミもに憤激し上海駐剳アメリカ總領 【東京電話】十五日確實なる筋への

事は乏那側の態度は言語道斷なりとし直ちに嚴重抗議をなした

議を行ひ英佛兩大使も同時に南京政府に嚴重抗議を發した なぼ南京に於てもジョンソン米大使は南京政府に對し同様の

抗

【頭ロ十五旦問題】十四日夜まで 「南口師、南口、馬家橋一帶の山

津浦線で北上 岳陽丸の一行 方面の穀燥極まる山田に向つて進の神部隊は十五日午後期に居庸職 報を開始した 品地區を完全に占據したOO、O

## 兩船出帆

記者、猴組船段一同など百十六名 たが長川流域建設軍芸芸新聞通信 機子在の封鎖のため南京に引返し 【丘隅丸十五日同盟】 引揚け途中 」 最高部外に健康であった日支連 ・ 監査を重せて十五日朝最高に向け出 ・ 現と重せて十五日朝最高に向け出 【上海十五日同盟】颱風を避けて

沈南世留民代を二百名は一行連過 は十五日午明十段部口総役総別組 郷者 で進計線を 北上今が発見に 郷者 で進計線を 北上今が発見に 郷者

後一兩日中に引揚げるととならう

字様に関し戦外を載行選報いたし 字様に関し戦外を載行選報いたし 號外發行

昭和十二年八月十六日 明朝 1年1月1日

血迷へる支那爆撃機

またも海軍を襲ふ

次いでアメリカ軍艦に爆彈投下

機は我に射落さる

ンセイションを捲きおこしてゐる一覧やかましく鹼酸せられるに至り

この報道は支那軍の影戦的態度を一問題は民五紀外鳴りを認めて居る 引揚命令が避せられる様なことに

# 元氣に凱旋

上、穏々御下間に奉答し脚海方面の懐黙につき委曲契持方面の懐黙につき委曲契

等ありしも日本軍が個外に駐車 し保護を加へられてより落も要 損することなし、日本軍の軍却 保護和手方などは実に決党に基 で加」となし特に公文を見つて を崩めの窓を見はした

【東京館話】米内源担は十 米內海相參內

し「本間は八日

一、凡を三千の支電電影がは八月 附近の内電車に対し攻撃を加く たり、別に兵力未詳の数は十三 上の、別に兵力未詳の数は十三 上の、別に兵力未詳の数は十三

技を初め本社児島支配人間田主部

少年少女軍國大行起及ひ十六日午が、別野き午後七時からの第二回

行旗に著いた陸开特型員=右端) 世才を寄である(御説は汝茱島成 て得た批単左題殿に京城府民へ報

支那人感謝めが軍紀に 則を退下した

### 選軍、三に選した情報によれば 『東京電話』十五日午前十一時半 日午前八時五聲(徳代順万四〇 日午前八時五聲(徳代順万四〇 敵の迫撃砲弾 邦人區域に集中

映勘館に命中その破片で通行中の | 上海十五百間間至余報| 開北方 | 原なるも支那側の絵だ打賞及表 | 国の 支那知四級は 年前十二時頃 照り表が方としては。何ともな 駅り表が方としては。何ともな のである。 | のでる。 | のでなる。 に自腐間頭を集中しつゝあり、内 弾は海螺路乍浦路角のウイルス に得ざるに至ったことを選擇と ・ である。 ・ では、かいる現地の情勢は友 ・ では、一 では、何ともな いのと解すが方としては、何ともな いのとは、一 では、一 では、 のり、なが、これに他 となっては、一 では、 のり、なが、これに他 となっては、一 では、 のり、なが、ことを選擇と 國府外交部

上海日日記者は負傷

に午前十一時半より超液原쒾十一般であった。虹口翩翩の開北の離は町 上面日日新聞記書角単氏は解問を 重大聲明 自衛権を宣言

河の申入れをなし來たつたので我

・ 若は日本軍へ、右は日本軍へ、右は日本軍

能民外回人の密

| 一分前に指すっている。 第一日 | 日前橋の下に一切の行動の自体がに高す直行中の邦人一名首成 | おけ十四日前夏文の電大歌明と観像がに高す直行中の邦人一名首成 | 3、自道橋の下に一切の行動の自 を射ちこみ内一般は同十一時五十 非人道的攻擊 由を取ると質言した 青島銀行休業

帶の制空權確保

【上海十五日同盟】 第地 健治中の S・デニソン大佐は上帝派遣艦隊 方に

既住参談として十四日午後七時我(一支那軍の爆撃は租界に多大の損

わが艦は現錨地にある要あり

英艦からの申出を

事情を具し拒む

トアメリカ大統領令息大人は十四【上海十四日同盟】ルースヴェル 停止を勧告 ル氏令息夫人 行が開業するまで体業するものと に期限を附してみないが上海各銀 銀行は十四日より全部体業した時 【青島十四日同盟】青島の支那各

に 即時停止する機能改した 即時停止する機能改した 見られて居る 岡崎部隊 傷者

上而十五日同盟 颱風を避けて

五日午前九時五十分韓相官邸に多果、重要適議を発げた 後宮軍務局長、柴山軍粉無長は十一後宮軍務局長、柴山軍粉無長は十二年の東京電話」杉山産相、梅津大食 將星重要協議

再情を説き外域監察側の自入れに

こを緊要とするしむるより厚ろしては単の責任で御承知の責任で御承知の

傷のである。

上海の事態の責任は

わが外務

◇電街 一等兵楽田校次▲同北村 信二▲同粕台領次▲上等兵田中 茶▲一等日本に付近領次▲上等兵田中 なほ石光電線は同日付左の如く昇 なほ石光電線は同日付左の如く昇 た時代少勝 管兵事勝 石光 集市 任時兵少勝

省の見解

勳の兩男士 各方面の絶讃を博す

からる申入れば金銭高温ひである

レイギリス側の出方を注目して 我方の罹犯自重に拘らず支那支那党軍の上海における空爆

たるものなることは現地におけ側の暴展不法の誘脳行為に出でが我方の躍怒自道に拘らず支那

からる事實なくむしろ外務営局は 問傷へられたが、外務省には米だ 府に對し重ねて上海を交戦地番よ 原イギリス代理大使に命じ我が政

ロップ駆飛行 面の総勝を押してゐる、北停耶想 を親し同歌を換失した、なは耶弥認を相手によ て真求は初の差の威胁として各方 一煉店頭は武直密官邸に命中大災国田、恵村剛 機を射落したのは北支耶敷始まつ | 面に顧黙を独中した、午前八時底 題に機関銃を指射した大戦さには 再総道管理局に機弾を投ぐした上

外国人もすつかり舌を揺ぎ、袂死 蘇聯三番機

の最後にも容易に出來い来だと第 【フェアバンクス十四日同盟一解 消息不明

抗

議を行ひ英佛兩大使も同時に南京政府に嚴重抗議を發した

なほ南京に於てもジョンソン米大使は南京政府に

【上海十五日同盟】 館鴻鈞上海市長は十五日各

支那、各國に對し

し通告

事は支那側の態度は言語追斷なりとし直ちに嚴重抗議をなした 那軍の空爆に對しては各國ともに憤激し上海駐剳アメリカ總領 【東京電話】十五日確實なる筋への報道によれば上海における支 租界に對する行動を

せしめた、本日午前中は小統弾の打ち合ひは二、三の便安隊による

支那空軍の暴狀に對

各國大使から嚴重抗議す

の砲撃は殆ざ盲弾

の死者數百に上る

羅修阿 む染に血 口日本人密集地區に落下、再び敵の虹口砲撃は猛烈を極めてゐる、なほ我が艦上畿〇機は【上海十五日同盟至急報】正午前後より北停車場附近砲兵陣地から射ち出す敵の楹展彈は虹 ガーに命中、また北四川路方面では北四川路、狄思威路の角、邦人經營購買組合なごに落方面は無寧路のウエルス映畵 韶の外昆山 路の ベビー・ガーデン、邦人經營カフエー・タイ『上海十五日同盟至急報』午前十一時半頃より始まつた敵の砲撃によつて日本人居住の虹口『上海十五日同盟至急報』「午前十一時半頃より始まつた敵の砲撃によつて日本人居住の虹口 、上海十五日同盟至急報「今曉八字橋の戦闘は極めて猛烈で敵は死體十數個を遺棄後退した 寒された、同方面の敵陣地は殱滅的打撃を受けてゐる模樣 |上海十五日同盟||昨夜來の我が軍の砲撃により江灣支那軍の根據地たる市政府は完全に破 虹口及び閘北の上空を飛翔中である **「していづれも滅茶々々に破壊され邦人街の被害は相當大なる模様である** 理三個や投下同艦附近の水上に落下した、錢りの中一歳(コロセーア)の輕燥機はわが陸戰 上海十五日同盟」支那軍用機九台は十五日午後三時半頃再び上海上空に飛來しその中七台 **学を行ふと共に租界上空や飛翔してゐる** |上海十五日同盟室急報||敵爆撃機二機は執拗にも十五日午後三時二十分旗艦〇〇に對し爆 一個の射像に遭ひ至しく暗霊の中を南方に逃走した は大島歌方面より層豪雄、野鹿の呼解…陸帯除本部を目蓋けて行。 穀魂行機ら直もに敵の解兵陣地大器敵に至り禦軽を上海十五日周盟)淮東武寇総士占日 年 · 1. ● ※ 平一時瑕在まで | 乍浦紫、文路などの虹口脈戯に敷絶落下したが置郷 一本部を爆撃せんこしたが陸飛隊の機闘銃彈を受けて墜落した、我方に損害なし 更に支那飛行機は何を間違つたか同四十分頃アメリカ東洋艦隊旗艦オーガスター號に爆 |数態規能した、大場戦より総合の整備に構ね宣罪)は弥忠成路、 外にはなく阿彌の麒麟であつつ、あるが月標の水源には一謎も高いず附近のナモス・アパー。 せしめた、本日午期中は小餐 黄州江の我軍艦に對して空襲を企圖し○○艦○○○に對し城彈一個を按下したが命中 わが射撃で逃亡 市政府(日本)完全に破壊

五日同盟至急報 子前十一時半頃より始まつた敵の砲撃によつて日本人居住の虹

〈街の被害は相當大

支那軍の集中砲撃で

一角は貯蔵の〇を開館すべく飛来したが我が〇〇野路技び〇〇町よりの観光な話で、「上海十五日同国」十五日午後三畔十分と三時四十小の十回に重り取の単宗総建

# 来の風に雨を加へて本格的紫風雨と化し、かくて不安な一夜は明けて上面呂留三萬の邦人には数早や受色に見えない 作職と用候って我が海軍機の精 誠が 支那空 軍根據 地を逐次叩き潰して 殆んど 処滅的打撃を與へ、夜に飛じその優勢を告み一気に共同風光に向って撃力的夜襲を進行せんとの蜀に歴度の不安に怯えてゐたが、我が地上部隊の果政なっ 海を中心とする一帶の制空權を確保した。結果、居留民の生態版確に對する危險は一先づ解復するに至づた、夜 番月司令で(左)へ恩賜の繃帯を傳達する木下中佐(右) 商名